

平成 2 1 年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	文化の力をはぐくむ「京育」推進事業費								
予算額	11,500千円	新規・継続事業の別	継続						
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 平成18年度開催の「京都総文」の成果を踏まえ、高校における文化系部活動の活性化と京都の伝統文化の次世代への継承を図りつつ、地域や小・中学校等へ波及させることにより、平成23年の「国民文化祭」の成功につなげ、京都ならではの文化をはぐくむ「京育」の確立を目指す。</p> <p>2 内容</p> <table border="1" data-bbox="336 846 1441 1630"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 846 635 898">事 項</th> <th data-bbox="635 846 1441 898">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 898 395 1469">京都文化の次世代への継承</td> <td data-bbox="395 898 1441 1469"> 高校文化系クラブの強化指定による育成 ・ 高校生の芸術文化活動の活性化を図るため、強化・育成を目指す学校の文化系クラブを指定し、家元や保存会等による専門的な指導を行い、全国に通用する文化系部活動を育成する。 強化・育成校：京都総文での部門など19部門で指定（1部門1校程度） 高校生による小・中学生への文化の継承 ・ 強化・育成校の生徒が、地域の小・中学校の文化祭等に参加して、文化の魅力を伝えることにより、京都の文化を次世代に継承する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1469 395 1630">芸術文化活動の推進</td> <td data-bbox="395 1469 1441 1630"> ・ 各部門の優秀校による発表会を開催するなど、国公立、私立の学校が一堂に会する府内最大の文化祭である京都府高等学校総合文化祭を充実 </td> </tr> </tbody> </table> <p>— 《「京都総文」での部門など19部門》 — 演劇、合唱、吹奏楽、器楽、邦楽、バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、吟詠剣詩舞、郷土芸能、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、茶道</p>			事 項	内 容	京都文化の次世代への継承	高校文化系クラブの強化指定による育成 ・ 高校生の芸術文化活動の活性化を図るため、強化・育成を目指す学校の文化系クラブを指定し、家元や保存会等による専門的な指導を行い、全国に通用する文化系部活動を育成する。 強化・育成校：京都総文での部門など19部門で指定（1部門1校程度） 高校生による小・中学生への文化の継承 ・ 強化・育成校の生徒が、地域の小・中学校の文化祭等に参加して、文化の魅力を伝えることにより、京都の文化を次世代に継承する。	芸術文化活動の推進	・ 各部門の優秀校による発表会を開催するなど、国公立、私立の学校が一堂に会する府内最大の文化祭である京都府高等学校総合文化祭を充実
事 項	内 容								
京都文化の次世代への継承	高校文化系クラブの強化指定による育成 ・ 高校生の芸術文化活動の活性化を図るため、強化・育成を目指す学校の文化系クラブを指定し、家元や保存会等による専門的な指導を行い、全国に通用する文化系部活動を育成する。 強化・育成校：京都総文での部門など19部門で指定（1部門1校程度） 高校生による小・中学生への文化の継承 ・ 強化・育成校の生徒が、地域の小・中学校の文化祭等に参加して、文化の魅力を伝えることにより、京都の文化を次世代に継承する。								
芸術文化活動の推進	・ 各部門の優秀校による発表会を開催するなど、国公立、私立の学校が一堂に会する府内最大の文化祭である京都府高等学校総合文化祭を充実								
担当課名	高校教育課 指導第2担当	課・担当 電話番号	075-414-5852						